

令和5年度 第1回 賀茂地域医療構想調整会議 議事録

日 時	令和5年6月27日（火）午後6時30分～7時30分																																																														
場 所	静岡県下田総合庁舎第8会議室（WEB開催）																																																														
出席者等 職・氏名	<p>（出席委員）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">賀茂医師会長</td> <td style="width: 20%;">太田 清利</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>賀茂歯科医師会長</td> <td>菊池 毅</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賀茂薬剤師会長</td> <td>高橋 清彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>伊豆今井浜病院長</td> <td>小田 和弘</td> <td></td> </tr> <tr> <td>康心会伊豆東部病院長</td> <td>高尾 昌孝</td> <td></td> </tr> <tr> <td>熱川温泉病院長</td> <td>田所 康之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ふれあい南伊豆ホスピタル院長</td> <td>望月 博</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西伊豆健育会病院長</td> <td>仲田 和正</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会福祉法人梓友会理事長</td> <td>川島 優之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>全国健康保険協会静岡支部企画総務部長</td> <td>海野 陽之</td> <td></td> </tr> <tr> <td>下田市市民保健課長</td> <td>斎藤 伸彦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東伊豆町健康づくり課長</td> <td>山田 義則</td> <td></td> </tr> <tr> <td>河津町健康増進課長</td> <td>土屋 典子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>南伊豆町健康増進課長</td> <td>山田 日好</td> <td></td> </tr> <tr> <td>松崎町健康福祉課長</td> <td>鈴木 悟</td> <td></td> </tr> <tr> <td>西伊豆町健康福祉課長</td> <td>渡邊 貴浩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>静岡県賀茂保健所長</td> <td>本間 善之</td> <td></td> </tr> </table> <p>（欠席委員）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">静岡県看護協会賀茂地区支部長</td> <td style="width: 20%;">稲葉 圭子</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td>下田メディカルセンター病院長</td> <td>伊藤 和幸</td> <td>※代理出席</td> </tr> <tr> <td>下田温泉病院長</td> <td>荒井 充</td> <td>※代理出席</td> </tr> </table> <p>（助言者）</p> <p>浜松医科大学特任教授（地域医療構想アドバイザー） 竹内 浩視</p>			賀茂医師会長	太田 清利		賀茂歯科医師会長	菊池 毅		賀茂薬剤師会長	高橋 清彦		伊豆今井浜病院長	小田 和弘		康心会伊豆東部病院長	高尾 昌孝		熱川温泉病院長	田所 康之		ふれあい南伊豆ホスピタル院長	望月 博		西伊豆健育会病院長	仲田 和正		社会福祉法人梓友会理事長	川島 優之		全国健康保険協会静岡支部企画総務部長	海野 陽之		下田市市民保健課長	斎藤 伸彦		東伊豆町健康づくり課長	山田 義則		河津町健康増進課長	土屋 典子		南伊豆町健康増進課長	山田 日好		松崎町健康福祉課長	鈴木 悟		西伊豆町健康福祉課長	渡邊 貴浩		静岡県賀茂保健所長	本間 善之		静岡県看護協会賀茂地区支部長	稲葉 圭子		下田メディカルセンター病院長	伊藤 和幸	※代理出席	下田温泉病院長	荒井 充	※代理出席
賀茂医師会長	太田 清利																																																														
賀茂歯科医師会長	菊池 毅																																																														
賀茂薬剤師会長	高橋 清彦																																																														
伊豆今井浜病院長	小田 和弘																																																														
康心会伊豆東部病院長	高尾 昌孝																																																														
熱川温泉病院長	田所 康之																																																														
ふれあい南伊豆ホスピタル院長	望月 博																																																														
西伊豆健育会病院長	仲田 和正																																																														
社会福祉法人梓友会理事長	川島 優之																																																														
全国健康保険協会静岡支部企画総務部長	海野 陽之																																																														
下田市市民保健課長	斎藤 伸彦																																																														
東伊豆町健康づくり課長	山田 義則																																																														
河津町健康増進課長	土屋 典子																																																														
南伊豆町健康増進課長	山田 日好																																																														
松崎町健康福祉課長	鈴木 悟																																																														
西伊豆町健康福祉課長	渡邊 貴浩																																																														
静岡県賀茂保健所長	本間 善之																																																														
静岡県看護協会賀茂地区支部長	稲葉 圭子																																																														
下田メディカルセンター病院長	伊藤 和幸	※代理出席																																																													
下田温泉病院長	荒井 充	※代理出席																																																													
報 告	<ol style="list-style-type: none"> 1 令和4年度外来機能報告及び紹介受診重点医療機関 2 令和4年度病床機能報告 3 地域医療介護総合確保基金 																																																														
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域医療構想を踏まえた各医療機関の対応方針の作成・更新について 2 第9次静岡県保健医療計画の策定 <ol style="list-style-type: none"> （1）策定体制、スケジュールについて （2）第9次静岡県保健医療計画における地域医療構想の実現に向けた方向性について （3）賀茂圏域の課題を踏まえた圏域版計画骨子案について 																																																														

○報 告

次の1～3について事務局から、それぞれ資料に基づき報告し、情報共有を図った。

1 令和4年度外来機能報告及び紹介受診重点医療機関

資料2に沿って説明

2 令和4年度病床機能報告

資料3に沿って説明

3 地域医療介護総合確保基金

資料4に沿って説明

【意 見】

仲田委員	・地域医療介護総合確保基金は、賀茂圏域では、具体的にどんなことに使われているのか。 →大きな実績はないが、高額診療機器の購入や改築、医師招聘、看護師養成等の人材確保などにも、説明責任を果たせば使えると説明。
小田委員	・高額医療機器の購入についても、公共性があると認められれば、(採択の)可能性があるのか。 →説明責任のハードルは高いが、(伊豆今井浜病院は、)整形の指定専門医制度の認定施設になって、連携病院として必要な機能ということになると、採択の可能性がでてくるのではないかと説明。

○議 題

1 地域医療構想を踏まえた各医療機関の対応方針の作成・更新について

資料5に沿って説明

*特に意見なし

*関係病院には改めて提出を依頼

2 第9次静岡県保健医療計画の策定

(1) 策定体制、スケジュールについて

資料6に沿って説明

(2) 第9次静岡県保健医療計画における地域医療構想の実現に向けた方向性について

資料7に沿って説明

(3) 賀茂圏域の課題を踏まえた圏域版計画骨子案について

資料8に沿って説明

*特に意見はなく、議長が諮ったところ異議なく承認された。

○賀茂圏域における課題

- ・以前から、報告事項だけでなく圏域内の固有の課題について議論すべきとの意見があったため、賀茂地域医療構想調整会議において、継続的に、課題を共有し協議していくこととした。
- ・出された意見等は以下のとおり。

【意見】

高尾委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高校の学校医をしているが、子どもの数が急激に減少している。 ・そういった背景を加味した計画にしなければならない。
斎藤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・賀茂圏域内だけでは、高度な医療や救急医療が完結できないことは明白である。 ・連携が大切とあるが、増加する高齢者を支える体制として、ある程度地域内で通える範囲で医療にかかることができる体制づくりに重きを置いてよいのではないか。
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化に伴う人口減少により、西伊豆地域においても、医療従事者の減少が危惧されている。 ・町だけで完結できない事案のため、広域で対応していかなければならず、各市町が課題を共有し、対応しなければならない。
渡邊委員	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化率が特に高い賀茂地域には、地域性などの背景により、県の計画以上の課題があるのではないか。 ・各地域でそれぞれ特性があるため、賀茂圏域全体での協議の場と合わせて、西・南・東のブロック単位で協議する場もあると、より具体的に話し合えるのではないか。
本間委員	<ul style="list-style-type: none"> ・三つのエリア（西・南・東）において、密接な連携を保ちつつ、課題を抽出していただくと、賀茂圏域の医療計画が、血の通った実現可能性のあるものになるのではないか。
仲田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・賀茂地域は、急激な人口減少により、今後の小児科・循環器・産婦人科の医師を確保することは難しい。 ・西伊豆健育会病院、伊豆今井浜病院及び下田メディカルセンターは、できるだけ総合医療の医師を確保し、肺炎、心不全、大腿骨骨折等の common disease に対応し、専門的な医療は順天堂大学静岡病院に任せるしか選択肢はない。 ・10年前と比べると、ドクターヘリもあり、峰トンネルの開通などにより、交通アクセスが良くなっている。 ・天城トンネル（伊豆縦貫道）が開通すれば、救急医療の問題も解決されるのではないかと思っている。
土屋委員	<ul style="list-style-type: none"> ・賀茂圏域に具体的にどのような課題があるか、松崎、西伊豆地域には、どのような課題があるのか知りたいので、ワーキンググループの開催を実現してほしい。

仲田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県事業で、大沢里地区において、タブレットを用いた遠隔診療を実施しており、かなり手応えを感じている。高齢者がタブレットを操作するのは難しいので、看護師等が現地に赴き、機器の設置等を行い、医師と画面を通してやりとりしている。 ・ 健康指導にもなり、患者さんの生活の様子がよく分かるので、とても良いと思っている。
太田議長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西伊豆健育会病院の取組はとても良いと思うが、診療報酬に反映されるようにならないと、なかなか他の病院でも取り組むことが難しい。県から国に働きかけ、診療報酬に反映させてほしい。
竹内アドバイザー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 賀茂圏域には3つのポイントがある。 <ul style="list-style-type: none"> ① 高度医療、小児医療、周産期医療等は、広域連携で実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各地域（病院）に専門の医師を揃えるのは難しいので、ICTの体制を整えるというのもある。実際、県立こども病院と志太榛原の病院をICTで繋いで相談できる体制を作っている。 ② 1.5次救急まで圏域内で対応。総合診療科と整形外科が地域のメインであるべき。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 多くの疾患のピークは過ぎているが、骨折と誤嚥性肺炎は、2030年～2035年がピーク（厚労省の疾患別医療需要の調査） ・ 骨折と誤嚥性肺炎の入院患者は今後も増加するので対応が必要。 ③ 在宅療養中の高齢者へのアウトリーチ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 浜松市天竜区で、Doctor to Patient with Nで山間地における遠隔医療の提供を実施。浜松市の看護師がタブレットを操作。地域の保健師は顔が見える関係性ができており、遠隔診療の手伝いをする事により、診療報酬の問題はクリアされる。 ・ 高度専門医療、1.5次救急医療及び在宅医療の3つを賀茂圏域で少ない人で回していくことを考えなければならない。 ・ そのための医療介護総合確保基金の活用も必要。 ・ 在宅医療に関しては、2次医療圏単位にする必要はなく、（西・南・東の）3つのブロックでワーキングを立ち上げるのであれば、理にかなったものになる。